



3-3. 大型施設等共同利用 ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI)

- ◆ 理化学研究所・計算科学研究機構や情報基盤センターなどが有するスーパーコンピュータやストレージの全国からの共同利用を促進（認証基盤の整備についてもNIIが中心的な役割を担当）

HPCI: High Performance Computing Infrastructure





3-4. 大学連携 宇都宮大学・横浜国立大学

- ◆ 宇都宮大学と横浜国立大学による“大学情報資産の事業継続計画に関する相互協力”をSINETのL2VPNで支援

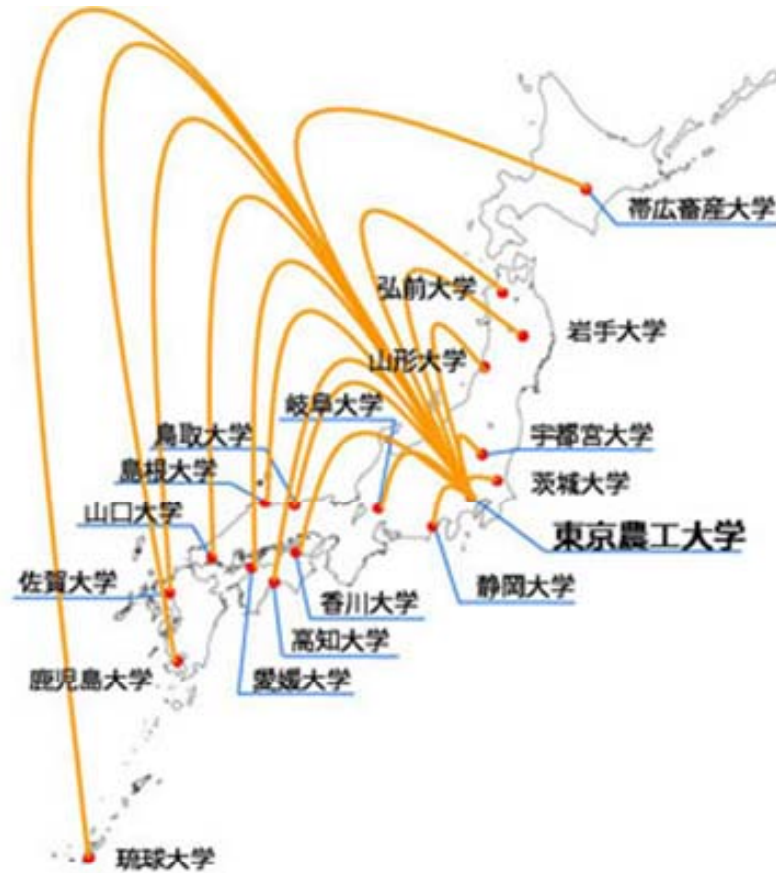


双方の大学が保有する情報資源をネットワークを通じて相互関係

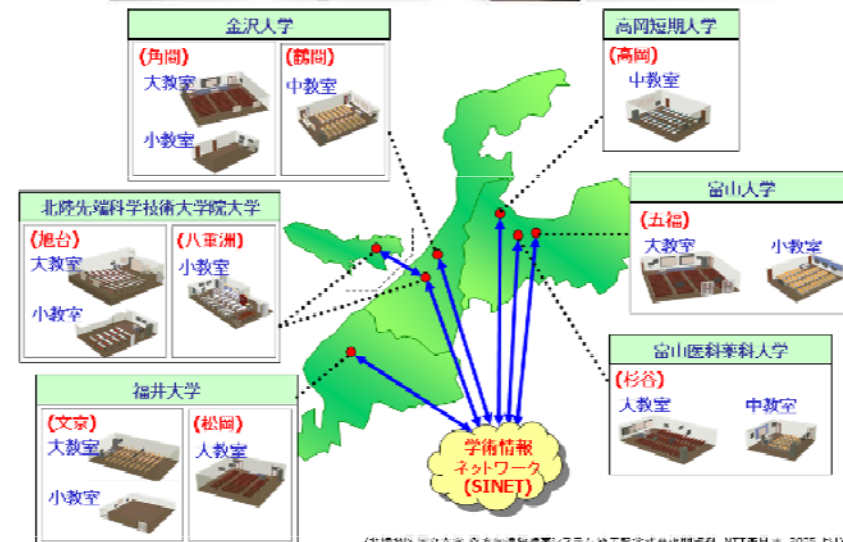


3-5. 教育連携 連合農学研究科の連携

- ◆ 安定した遠隔授業の実施を実現し、また、単位互換制度の推進の一役も担っている。
- ◆ 例えば、全国18の国立大学にまたがる連合農学研究科を結ぶ遠隔講義、北陸地区の大学間での双方向遠隔授業、琉球大学等での海外大学との遠隔講義、などの実施を支援



東京農工大を基点とした多地点遠隔講義

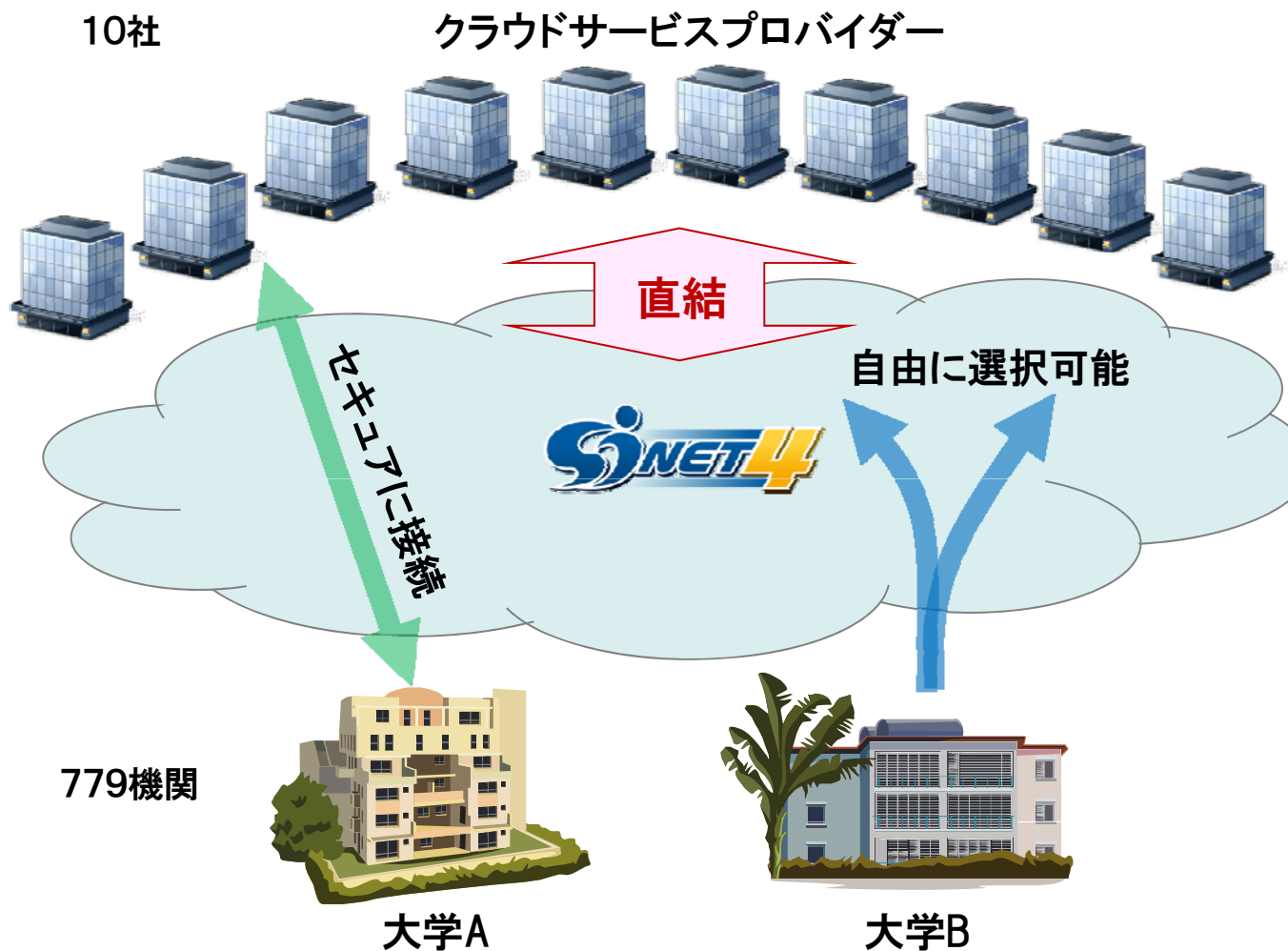


北陸地区での遠隔授業



3-6. クラウド SINETとの商用クラウド接続

- ◆ クラウドサービスプロバイダーがSINETに直結する枠組みを整備することで、高性能・高セキュア・低コストなクラウドサービスの提供を推進
- ◆ 現在10社が直接接続し、サービスを提供中



札幌:2、東京:5、大阪:2、博多:2

DC	サービス提供機関
東京	伊藤忠テクノソリューションズ(株)
東京	UQコミュニケーションズ(株)
東京	NTTコミュニケーションズ(株)
大阪	(株)インターネットイニシアティブ
博多	(株)NTTデータ九州
札幌	さくらインターネット(株)
大阪 博多	NTTスマートコネク(株)
東京	(株)データホテル
東京	富士通(株)
札幌	東日本電信電話(株)



3-7. 産学連携 共同研究における民間のSINET利用

- ◆ 民間企業がSINET上の研究資源(計算機、ストレージ、実験等設備)を利用する方法は以下の二つ
 - ①SINETに加入し、DCへ直接接続して利用
SINETの多様なサービス(セキュアなVPN網等)を利用できるため、積極的な産学連携が可能
*: SINET加入機関との共同研究等を行うことが条件
 - ②SINETに未加入のままで利用
SINETと商用ネットワークの相互接続ポイント(IX)を経由した利用が可能

